

決める

もっと住みやすいまちを目指し話し合う

○本会議や委員会での議決・質問

市の予算を決めたり市の条例をつくるためには、必ず市議会の同意を得なければなりません。

議員は、市から提案された条例や予算などについて話し合い、賛成か反対かを決定します。

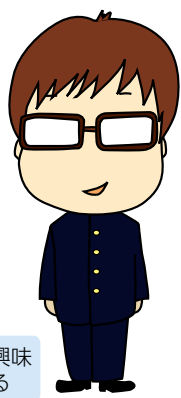
また、市が行っている政策に関して、さまざまな角度から質問することで、実施の必要性や適正に事務が行われているのか、効果があるのかなどを厳しくチェックしています。



特集

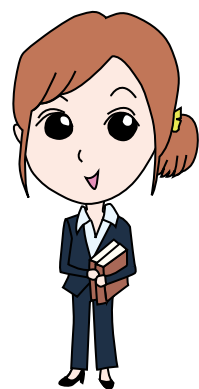
市議会議員のしごと

～市民の声を市政に届ける～



議会に興味のある

中学2年生
じょうくん



市議会事務局 職員
れいさん

市民の代表者として選挙で選ばれた市議会議員は、明石市をもっと住みやすいまちにするために日々考え、さまざまな活動を行っています。今回は、市議会議員の仕事の一部をお伝えします。

調べる

調査内容を生かして新しい政策へつなげる

○調査・研究

先進的な取り組みを行っている自治体や明石市が抱えている課題を解決した自治体の事例等を調査・研究します。情報収集を行い、その成果を市の政策に反映させます。

聞く

アンテナを高くして市民の声を聞く

○相談

面談、電話、訪問など市民からさまざまな相談を受けています。

○地域の会議や行事へ参加

地域の会議や行事に参加し、より多くの市民から生の声を聞く機会を持ち、市への政策提言等に役立っています。

つなぐ

市民の声を届ける

○市民の声を伝える

市民からの切実な声や要望、意見を市に伝え、その改善や実現を求めます。請願という形の市民の要望や意見を議会で話し合うこともあります。

○国や県等に意見書を提出する

市だけでは解決できない市民生活に重要な問題について解決を求め、議会で話し合い、国や県などに意見書を提出します。

提案する

新たな政策を提案する

○政策提言

調査内容や市民からの声などを生かした新たな政策を議員自ら立案したり、条例案を作成するなど、市へ政策を提言し実現を求めます。



市民にとって、実はとても身近な存在なのよ。

僕たちの声を代弁してくれているんだね。

